

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市新田東総合運動場
2 指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 321,078人(前年度比 105.2%) 令和5年度 305,336人 令和4年度 214,435人 《事業》 ・スポーツ施設の運営管理 ・スポーツ振興に関する各種スポーツプログラム・講習会・イベントの開催
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 290,668 千円 (282,742 千円) - その他市が負担した費用 11,858 千円 (10,023 千円) 《収入》 - 使用料収入 107,113 千円 (104,822 千円) - その他収入 635 千円 (551 千円)
6 利用者の声	《実施状況》 スポーツ施設利用者アンケートの実施・・・令和6年10月11日～令和6年11月1日

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。ただし、個人情報の流出につながりかねない事例があった点については改善の余地がある。	30/31
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する各種研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令和6年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 自主事業の参加者用にオンラインでの受付・決済システムを導入しており、利便性の向上に大きく寄与している。	29/28
V 施設固有の基準	様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、市民のスポーツ振興に寄与している。 また、プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
令和6年度も事業計画に基づき、適正に施設の管理・運営を行いました。施設の年間利用者数は、猛暑の影響により温水プールの利用が増加したことも重なって、321,078名に達しました。 自主事業においては、新たに11のスポーツプログラムを導入し、年間で延べ29,406名の方々にご参加いただきました。参加者の多様なニーズに応える工夫と柔軟な運営が、こうした実績につながったものと考えております。 さらに秋の「マイタウンスポーツデー」では、施設内外のスペースを有効に活用しながら、参加者の五感を刺激する体験型の企画を展開しました。屋内では「障害物タイムレース」や「サバイバルゲーム」など、対戦要素を含んだプログラムを実施し、子どもから大人まで幅広い年代の来場者にお楽しみいただきました。加えて、温水プールにおいては初の試みとなる「SUP体験会」も開催し、延べ3,824名の参加があり、盛況を見せました。今後も地域諸団体との連携を深めながら、地域の拠点施設として、多くの市民に親しまれる場を目指してまいります。 施設および設備の維持管理に関しては、開館から19年目を迎え、建築・設備ともに経年劣化が進んでいますが、協定書に基づく保守点検業務を確実に実施し、安全性・機能性の確保に努めました。ご提案していた2件の修繕工事「プールろ過機用コンプレッサー修繕」「スプリンクラー設備（放水型）制御盤内予備電池の更新」についても、予定通り履行し、適切に対応しています。 またDX推進の一環として、トレーニング講習とボルダリング体験会に「WEB申込システム」を導入することで、申込手続きの簡素化と受付業務の効率化を図り、導入後の9月以降で629件の申込実績がありました。 今後も、さらに多くの方々にご来場いただける「地域に開かれた施設」となることを目指して、引き続き努力してまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。 施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。ただし、個人情報の流出につながりかねない事例があり、管理体制について改善が求められる。 施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、経年劣化した機器を取り換えるなど安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。 サービスの質の向上については、職員に対する各種研修を通じ、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努力しており、自主事業参加者用のオンライン受付・決済システム運用やデジタルサイネージの設置による情報発信など、利用者の利便性向上に努めている。 自主事業等については、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、市民のスポーツ振興に寄与している。夜間のプール事業の開催や、エクササイズの新規実施など利用者のニーズに合わせ取り組み、自主事業の参加者増となっている点は評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課